



特集

## 院展の画家たちⅡ

紅児会・赤曜会に集える俊英

1. 速水御舟《洛北修学院村》1918年  
滋賀県立近代美術館蔵



コレクション展 2018 - 春夏

2018年4月28日(土) - 7月8日(日)



特集

庭園の眺め

## 高橋力雄の木版画

2. 高橋力雄《Garden (Seasonal)》1977年  
和歌山県立近代美術館蔵

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL [moma\\_w@future.ocn.ne.jp](mailto:moma_w@future.ocn.ne.jp) WEB <http://www.momaw.jp/>

## コレクション展 2018 - 春夏

2018年4月28日(土)～7月8日(日)

和歌山県立近代美術館のコレクション展では、日本画・洋画・彫刻・版画など、総数1万点を超える所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、特集コーナーも設けながら作品紹介を続けています。

また、滋賀県立近代美術館が大規模な増築・改修を行うにあたり、その休館期間中、同館が誇るコレクションの一部を当館で公開することとなりました。

今回は、そうしたふたつの近代美術館のコレクションにより、【和歌山ゆかりの作家と近代美術 明治・大正】【特集 院展の画家たちII】【和歌山ゆかりの作家と近代美術 昭和】【アメリカ抽象表現主義と現代美術】【特集 高橋力雄の木版画】といったコーナーを設け、約160点の作品を紹介します。

### 特集

### 院展の画家たちII

### こうじかい せきようかい 紅児会・赤曜会に集える俊英

日本美術院とは、1898(明治31)年、東京美術学校(現在の東京藝術大学)を辞職した岡倉天心を中心に、同じく同校を退いた橋本雅邦、横山大観、下村観山、菱田春草らにより創設された美術団体です。院展で活躍した作家には、東京美術学校出身者だけでなく、小堀鞞音や松本楓湖の画塾に学び、画業の初期に紫紅会(のち紅児会と改称)や赤曜会といった青年画家の研究団体で活発な動きを見せた人物もいました。今回は、かつて紅児会や赤曜会に集

い、互いに研鑽を重ねた今、村紫紅、安田靫彦、速水御舟、牛田鶏村、小茂田青樹、中村岳陵らによる意欲的な作品を展示し、速水御舟《洛北修学院村》や安田靫彦《飛鳥の春の額田王》など、近代日本画史に残る名作もご紹介いたします。



3. 今村紫紅  
《草廬三顧》1911年  
滋賀県立近代美術館蔵



4. 小茂田青樹  
《母子鹿》1928年  
滋賀県立近代美術館蔵



5. 安田靫彦《飛鳥の春の額田王》  
1964年 滋賀県立近代美術館蔵

## 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画

1955(昭和30)年から1990年代までの作品約60点により、版画家・たかはしりきお高橋力雄(1917～1998)の歩みをたどります。

第二次世界大戦後、疎開先の長野県須坂から東京に戻り、1949(昭和24)年に恩地孝四郎を初めて訪ねた日は、月に一度、第1木曜日に版画家たちが恩地宅に集う「一木会」の解散の日でした。しかしその後も高橋は恩地孝四郎を師と決め、大きな影響を受けながら木版画による独自の抽象的な表現を探索し続けました。

戦後の荒廃した時代に京都や古社寺の庭園を巡り、日本の美感を求めようになった作品は自身を取り返すための営みであったようです。そしてそれらはアメリカで高い評価を受けるようになります。

中間的な色彩と柔らかい筆の動きを木版であらわした作品群は、高橋力雄の平穏を求める心の風景でもあったのではないのでしょうか。



6. 高橋力雄《Kyoto Series No.40 Festival》  
1966年 和歌山県立近代美術館蔵



7. 高橋力雄  
《Kyoto Series No.46 Nunnery's Garden》1975年  
和歌山県立近代美術館蔵



8. 高橋力雄《献花A》1961年  
和歌山県立近代美術館蔵

### 開催概要

|      |  |
|------|--|
| 会場   | 和歌山県立近代美術館 1階展示室   |
| 会期   | 2018年4月28日(土)～7月8日(日)  |
| 主催   | 和歌山県立近代美術館   |
| 開館時間 | 9時30分～17時(入場は16時30分まで)   |
| 休館日  | 月曜日(ただし4月30日(月)は開館し5月1日(火)休館)  |
| 観覧料  | 一般340(270)円、大学生230(180)円( )内は20名以上の団体料金<br>*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料<br>*毎月第4土曜日(4月28日、5月26日、6月23日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 |

### 関連事業

#### ● 担当学芸員による解説会

5月3日(木・祝)、6月9日(土)、7月1日(日) いずれも14時から15時、展示室にて(※申込不要、要観覧券)

#### ● こども美術館部「絵にとびこむぞ！」(隔月開催の小学生対象鑑賞会)

6月16日(土) 11時から(※開始時間までに受付にて要参加登録、参加無料・同伴される保護者は要観覧券)

#### 【同時期開催】

##### 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園

【会期】2018年4月14日(土)～6月24日(日)

【会場】2階展示室

##### なつやすみの美術館 8 タイムトラベル

【会期】7月7日(土)～9月2日(日)

【会場】2階展示室

#### 和歌山県立近代美術館

学芸担当：井上・藤本 / 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>